

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2010-97
研究課題名	抗 MRSA 薬投与設計法に関する研究
研究期間	西暦 2010 年 6 月（倫理委員会承認後）～ 2011 年 12 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（過去の血中濃度測定結果および診療情報）
上記材料の採取期間	西暦 2003 年 11 月～ 西暦 2010 年 11 月
意義、目的	抗 MRSA 薬の塩酸バンコマイシン（VCM）の有効かつ安全な使用のためには、投与開始時の迅速かつ的確な投与設計が必要であり、個々の症例毎に、定常状態時の血中濃度を予測した初回投与量の設定および投与後の TDM (Therapeutic Drug Monitoring) が望まれる。VCM に対する初回投与量の設定方法には、様々な予測式等が応用されているが、その精度には限界があり、患者の特性に応じた補正を行うなど、その予測精度の改善が必要である。VCM 使用における有効性・安全性の面からも、投与設計ソフトの予測精度の改善は非常に有意義である。今回、VCM の TDM 実施状況の現状を把握すると同時に、投与設計ソフトの特徴を把握し、その予測性の精度向上のための補正方法を明らかにする。
方法	東北大学病院における 2003 年以降の VCM 注射剤の投与患者を、医事課保険請求履歴より同定し、実際の VCM 投与量、処方診療科、投与時の患者背景・合併症・リスク因子・各種検査値を診療支援システムデータより抽出する。更に、薬剤部に保管されている TDM 実施報告書のデータを電子化し、それらを突合したデータベースを作成し、1) VCM の TDM 実施状況の現状把握、2) 各種投与設計ソフトの特徴の把握、3) VCM の初回投与設計時の予測精度を向上させる補正要因の検討、を行う。 なお、本調査への参加を希望しない場合は、下記窓口に申し出ることにより、研究対象者となることを拒否することができる。
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学病院薬剤部 実施責任者 島田 美樹 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 電話：022-717-7527